

1. 本校の課題等 (全国学力・学習状況調査および本校の分析から)

- 国語科…分かったことや目的に応じて質問したいこと等を整理し、それらに関連づけながら書いたり述べたりすることが苦手である。
- 算数科…記述式や短答式の問題に対して、粘り強く解決していくことが苦手である。
- 理科…科学的な考え方や自ら表現する力がやや弱い。
- 社会科…社会的思考力・判断力や表現力がやや弱い。また、資料を読み取る力にも課題がある。

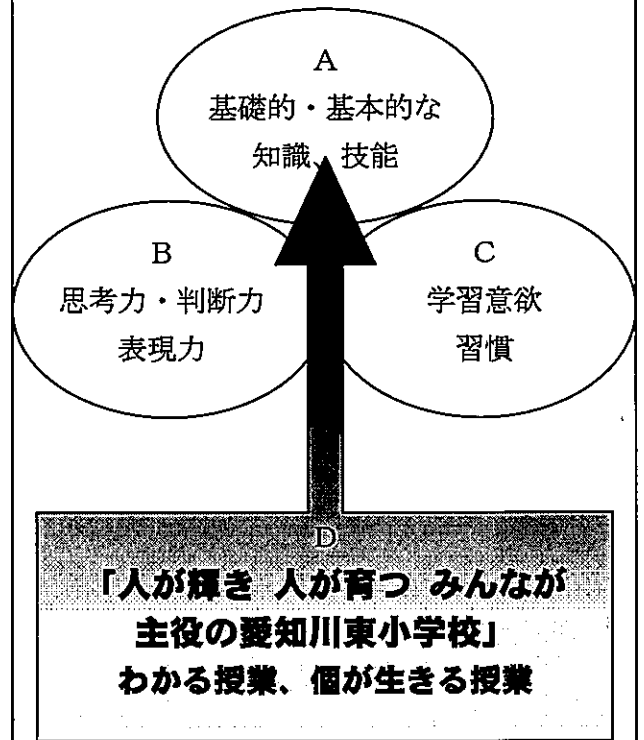
【児童の生活実態】

- ・最後までやり遂げてうれしかったことがある児童、将来の夢や目標をもっている児童、人の役に立つ人間になりたい児童が多い。
- ・テレビ、ビデオ、DVDの長時間視聴、携帯ゲームの長時間実施等により、読書や家庭学習時間の短い児童が多い。

【改善されつつある課題】

- ・「おはようタイム」「東っ子検定」の取組を通して、全校体制で学ぶ意欲の向上と基礎・基本の徹底に努め、徐々に成果があがっている。今年度も継続して、具体的取組の充実を図っていく。

2. 本校の「学力」のとらえ方



Aからのアプローチ

- ・基礎、基本（聞く力、書く力、話す力）の確実な定着のための指導法の工夫
- ・「聞き合い、話し合う」ための学習規律の確立
- ・「おはようタイム」（毎日）、「東っ子検定」（学期に1回）の取組を通して、基礎・基本の習熟状況を把握し、学力向上に役立てる。

Cからのアプローチ

- ・主体的な学びとなる家庭学習の促進
- ・「家庭学習の手引き」に基づく家庭学習の充実
- ・児童会による学校生活改善の取組
- ・PTA、保護者との連携・協力
（「毎月第3水曜日はノーメディアデー」等）
- ・学校だより、学年通信、学級通信等による啓発

3. 学ぶ力向上へのアプローチ

Bからのアプローチ

- ・少人数学習指導…算数科での一人ひとりに応じたきめ細かな指導
- ・思考力、判断力、表現力の育成に向けた授業改善
- ・意見の交流等による主体的・対話的な学びの推進
- ・自分の考え、まとめや感想を書くなど学習の積み上げを残すノート指導の充実
- ・話し合い活動の充実によるコミュニケーション能力の育成

Dからのアプローチ

- ・「人が輝き 人が育つ みんなが主役」の学校・学年・学級づくり
- ・教師間での児童の実態把握と課題の共有
- ・学習規律の確立と指導力の向上
- ・相互に学び合い、高め合う教師集団
- ・基本的な生活習慣の確立に向けた取組
- ・効果的な教育相談等による児童理解
- ・学びの充実（グループ学習等授業形態の工夫）
- ・校内研究の推進、OJTによる研修

4. 学ぶ力向上策の検証

- ・学ぶ力向上部会を中心とした学ぶ力向上策の見直しと具体的推進
- ・校内研究での研究授業の実践および考察
- ・少人数授業、TTの工夫、改善
- ・自由に授業を公開し意見交換する同僚性の構築
- ・「学校評価」、「学校関係者評価」、各種アンケート等の結果を学ぶ力向上策に反映